

「奈良県」版



*イメージ

奈良県

奈良県は東西 78.6km、南北 103.4kmと南北に長めの長方形の県です。日本のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中にあり、大阪府・京都府・和歌山県・三重県に囲まれて海のない内陸県です。

奈良県章
奈良県の「ナ」を象徴化したもので、外の円は大和の自然を、内の円は算和の精神をあらわしています。横一文字の輪は、力強い統一の心とみなさることをめざしています。
(昭和43年3月制定)

奈良県の鳥 (こまどり)
コマドリ、アオガラス、ミンサザイ、オオルリ、カワセミの5候補を選考委員会が決めた。県民のハガキ投票により、最も票の多かったコマドリを県の鳥に指定しました。
(昭和41年6月制定)

奈良県の花 (奈良八重桜)
県の花選定委員会が、奈良八重桜、山桜、牡丹、梅、馬酔木、藤の6候補の中から奈良八重桜が県花として選ばれました。
(昭和43年3月告)

種類	80円郵便切手 1シート5枚
意匠	① 大極殿正殿と桜と観音 平城遷都1300年にゆかり、奈良時代の繁栄を象徴する史跡平城宮跡の中心の建造物である第一次大極殿正殿と奈良県の県花である奈良八重桜を、奈良時代から続く伝統技法である刷毛描に用い、構成しデザインしています。
	② 長谷寺と牡丹 686年、天武天皇のため、備前朝が新羅法華院を西の岡に安置したことが始まりとされます。行蔵が2階おきに見えるように、聖徳太子の御代には、華になるお花700種類の花の池の池が見ることが出来ます。
	③ 浮見堂となら桜花会 浮見堂は奈良公園の東麓に佇み、お釈迦様の六角形のお堂で、夜間はライトアップされています。浮見堂のライトアップは、年中、自民一泊特等な観光客は奈良公園の夜を満喫出来るイベントです。奈良公園に広がる1つのエリアで20,000本以上のあふれる美しい桜の花を眺めます。
	④ 斑生寺五重塔 屋外に立つ日本最大級の五重塔（国宝）（高さ16m）です。1000年の古塔でほとんど傾斜していますが、異変は修復されています。
	⑤ 吉野山の桜 4月上旬から中旬にかけて3万本と書ける桜が花開きます。吉野の桜山は奈良公園と並んで絶景スポットです。御所の桜として保護されてきました。
背景	斑生寺五重塔と若草山麓と花火（背景写真：野中 郁夫）
写真撮影及び提供	② 早山 信武 ③ 西垣 良次 ④ 飛鳥蘭 ⑤ 河口 信雄
デザイン	丸山 智（切手デザイナー）
発行日	平成22(2010)年2月8日(月)
版式刷色	グラビア6色
印刷寸法	① 縦 36.0mm × 横 30.0mm ②-⑤ 縦 30.5mm × 横 25.0mm
小切れ寸法	① 縦 39.0mm × 横 33.0mm ②-⑤ 縦 33.5mm × 横 28.0mm
シート寸法	縦 175.0mm × 横 93.5mm



(各都道府県共通)
裏面『古銭のイメージ』

500円ハイカラーグラッド貨幣の概要
紙面 50円
素材 ニックル真鍮、白銅及び銅
高さ 厚さ約12.5%、ニッケル12.5%
直径 7.17mm
重量 26.83g(メートル)
その他特徴 異形斜めギザ、増量等